

大島くるみ病院便り



院内発表会

9月4日に第6回院内研究発表会が行われました。先月号に引き続き今月も、紹介させていただきます。今月号は安全対策委員会を紹介します。

安全対策委員会の発表

転倒転落はどこの医療施設でも常に起こり得る事故です。転倒転落防止は、永遠のテーマであると言われていています。今回の安全対策委員会の研究発表は、転倒転落防止対策についてです。当院でも、転倒転落防止対策に組織的に取り組んでおり、改善策については、医療者間で(医師・看護師・介護士・薬剤師など)協議検討を行っています。しかし、なかなか減らないのが現状です。そこで、もう一度見直してみることにしました。

始めに

転倒・転落の発生要因には3つの要因があります。

- ①患者様側の要因 ②ケア提供者側の要因 ③環境の要因

防止対策をたてるには危険度の評価が大事です。

- ①転倒、転落の起きやすい要因を知っておく ②既往歴などから患者様の状態を把握 ③転倒、転落アセスメントチェック表で評価スコアを判定

対策と注意事項

環境整備にも努める

- ①病棟、病室の整理 ベッドサイド・廊下の障害物除去 ②わかりやすい表示

日常の注意事項

- ①観察、巡視は密に ②移動中は目を離さない ③正しい方法の体位交換・トランスファー ④転倒・転落防止用品の適切な使用

患者・ご家族様への説明

- ①家族様への説明と協力の依頼 ②患者様に合わせた説明と指導

最後に

スタッフは、患者様の状態・行動パターン・危険度を把握し、少しの物音などでも危険を察知し、予測する能力を身につけるようにする。また、頻回に部屋を訪室し、患者様の状態を確かめる時間を惜しまない。それが転倒、転落を未然に防ぐことにつながっていくのではないかと思います。

発表者 稲垣 郁、安井 郁子

第2回 医療連携懇談会

平成23年10月19日、近隣の急性期病院より地域連携室のソーシャルワーカーや看護師の方を迎え、第2回医療連携懇談会が行われました。

院長より患者数・医療状況などの説明や事前アンケートで質問があった事項に対するの回答がありました。また、当院より入院までのスピーディな情報のやり取りができるよう、Eメールや患者連絡表の活用の提案がありました。その後、参加者から質疑応答があり、活発な意見交換が行われ、有意義な懇談会となりました。今後の他院との連携に役立てたいと思います。



11月 happy birthday

- | | | |
|---------------|-------------|------------|
| 宮腰 与作様 92歳 | 野村 千カ子様 84歳 | 川口 和子様 81歳 |
| 佐賀 和夫様 68歳 | 浅野 外美様 74歳 | 永森 啓様 65歳 |
| 鳥山 雪子様 88歳米寿 | 尾崎 節子様 84歳 | 三村 和子様 90歳 |
| 中崎 喜榮三様 88歳米寿 | 味噌 稔様 83歳 | |
| 堀江 みつ子様 89歳 | 松島 富子様 84歳 | |



お誕生日おめでとうございます

今月の顔



尾崎 節子様



ドクター紹介



水巻 康 先生

10月1日より着任されました。
主に、南3階・ショーステイを担当されます。

<自己PR>

どちらかというと、地道に、もくもくとしていく方かと自分では
思っています。

<経歴>

富山医科薬科大学（H4年 卒業）

長堀院長の後輩です！

<趣味>

絵画や音楽鑑賞など文科系のものが好きです



移動コンビニ開店！

9月30日と10月13日に1階ホールにてセブンイレブンさんの移動コンビニが来店しました。入院患者様にとっては久しぶりのお買い物とあって、皆さん楽しんで品物を選んでいらっしゃいました。今後も月に1度程度実施する予定です。



いいな～

私も買おうかしら？

これくださ～い

毎度有難う
ございます

欲しい物がありすぎて迷っちゃう

ありがとうね



これ、おいしそうね！

お知らせ

平成23年11月1日より、インフルエンザの予防接種が始まりました。当院でも接種できます。

一般の方は、1回目 3,500円、2回目 2,500円、

射水市で65歳以上の方（接種券持参）は、1,200円です。

予約制なので、事前に電話か窓口にてお申込み下さい。

入院患者様については、各病棟ナースセンターにて受付中です。

インフルエンザ予防のために、早めの接種をお勧めします。

お問い合わせ先

大島くるみ病院 医事課

TEL: 52-2580

★編集後記★

最近、めっきり寒くなり、秋の季節を感じる今日の頃です。紅葉も見頃の時期になって参りました。体を暖かくして、インフルエンザや風邪などひかないよう注意しましょう。

基本理念

患者様の生命と人権を尊重した医療・看護・介護に努めます。

信頼され安心して利用される施設・在宅支援サービスを提供します。

地域と連携し高齢者医療の中核病院を目指します。

職員は常に自己研鑽に励み、医療・看護・介護の質の向上に努力します。平成23年3月7日改定

運営指針

1 私たちは、思いやりの心をもって利用者の方々の自立支援を行います。

2 私たちは、感謝の気持ちをもって、利用者の方々に接します。

3 私たちは、小さな努力を一步一步積み重ねて、利用者の方々の笑顔を得たいと考えます。

4 私たちは、利用者の方々の長年の苦勞に敬意をはらって、介護サービスをいたします。

5 私たちは、利用者の方々からのご意見、ご提案に耳を傾けます。

6 私たちは、入所・入院しておられる方々に医療情報を積極的に公開し安心と納得の医療に努めます。